

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03-5772-4470
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,627	6.3	172	41.5	170	33.4	127	51.1
29年3月期第1四半期	7,174	△5.1	121	25.4	127	27.5	84	13.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 127百万円 (59.1%) 29年3月期第1四半期 80百万円 (△4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	40.49	—
29年3月期第1四半期	26.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,445	2,156	22.3
29年3月期	8,709	2,123	23.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,110百万円 29年3月期 2,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,688	6.4	168	△21.9	168	△20.4	112	△22.3	35.74
通期	30,000	6.7	341	4.7	341	3.2	220	8.6	69.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）－、除外一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	3,150,000株	29年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	211株	29年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	3,149,789株	29年3月期1Q	3,149,789株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調にあるものの、米国の政策動向や中国をはじめとするアジア新興国の経済動向等、世界経済の不確実性により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、食の安心・安全に対する消費者の社会的関心は引き続き高く、品質管理体制のより一層の強化が求められているほか、国内市場の縮小化による同業他社との競争激化や原材料価格の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な供給体制並びに品質管理体制を維持・強化するとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。香料や糖類などの食品副原料の販売数量が減少したものの、乳及び乳製品や茶類等の農産物同加工品の販売数量が増加したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,627,501千円(前年同期比6.3%増)となりました。販売活動にともなう諸経費などの販売管理費は増加しましたが、前年同期に比べ売上高総利益率が上昇したことから、営業利益は172,496千円(前年同期比41.5%増)、経常利益は170,224千円(前年同期比33.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は127,532千円(前年同期比51.1%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、多様化した消費者ニーズに応えるため、重点ブランドの強化や新たな付加価値を備えた商品の開発を推し進めておりますが、小売優位の情勢や原材料高騰もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。香料や糖類などの食品副原料や飲料用資材の販売数量が減少したものの、業務用殺菌乳や粉乳調整品などの乳製品の販売数量が増加し、烏龍茶をはじめとする茶類などの農産物同加工品の販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は7,429,298千円(前年同期比6.3%増)となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。業務用バルクアイスの販売数量は減少したものの、菓子メーカー向けPB商品の販売数量が増加したことに加え、個食用カップアイスの製造が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は215,602千円(前年同期比1.0%増)となりました。

<その他>

その他においては、FC事業がありますが、東京大手町地区にてコンビニエンスストアを4店舗経営しております。SQCの向上や店舗運営の効率化に努めておりますが、同地区の就労人口の減少による影響などもあり、販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は195,861千円(前年同期比1.3%減)となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ690,249千円増加し、8,194,987千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品、未収入金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ45,853千円増加し、1,250,338千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて736,103千円増加の9,445,325千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ、847,364千円増加し、6,104,093千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ144,412千円減少し、1,184,751千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ702,951千円増加し、7,288,844千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ33,151千円増加し、2,156,481千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,735,586	1,112,841
受取手形及び売掛金	3,883,846	4,684,210
商品及び製品	1,146,967	1,443,095
未着商品	394,392	429,023
原材料及び貯蔵品	25,363	29,016
未収入金	253,124	417,971
繰延税金資産	22,605	29,578
その他	47,150	54,750
貸倒引当金	△4,300	△5,500
流動資産合計	7,504,737	8,194,987
固定資産		
有形固定資産	387,786	431,522
無形固定資産	53,596	46,492
投資その他の資産	763,101	772,322
固定資産合計	1,204,484	1,250,338
資産合計	8,709,222	9,445,325
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,812,716	4,453,662
1年内返済予定の長期借入金	747,692	720,384
未払金	540,761	716,818
未払法人税等	59,183	55,845
賞与引当金	35,778	22,500
その他	60,596	134,882
流動負債合計	5,256,729	6,104,093
固定負債		
長期借入金	1,194,168	1,025,039
資産除去債務	4,435	4,455
その他	130,558	155,256
固定負債合計	1,329,163	1,184,751
負債合計	6,585,893	7,288,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,213,265	1,246,304
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,868,998	1,902,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,622	172,218
繰延ヘッジ損益	3,244	503
為替換算調整勘定	35,790	35,383
その他の包括利益累計額合計	204,656	208,105
非支配株主持分	49,674	46,337
純資産合計	2,123,329	2,156,481
負債純資産合計	8,709,222	9,445,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,174,964	7,627,501
売上原価	6,500,473	6,865,478
売上総利益	674,490	762,023
販売費及び一般管理費	552,560	589,526
営業利益	121,930	172,496
営業外収益		
受取配当金	1,955	2,017
為替差益	5,870	—
受取手数料	1,611	1,611
受取補償金	988	115
その他	101	169
営業外収益合計	10,527	3,912
営業外費用		
支払利息	2,452	2,483
支払補償費	2,352	861
為替差損	—	2,784
その他	72	55
営業外費用合計	4,877	6,184
経常利益	127,580	170,224
税金等調整前四半期純利益	127,580	170,224
法人税、住民税及び事業税	25,484	50,243
法人税等調整額	10,315	△4,328
法人税等合計	35,800	45,914
四半期純利益	91,780	124,310
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,401	△3,222
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,378	127,532

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	91,780	124,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,620	6,596
繰延ヘッジ損益	△5,728	△2,740
為替換算調整勘定	△22,448	△520
その他の包括利益合計	△11,556	3,335
四半期包括利益	80,223	127,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,839	130,981
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,616	△3,336

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,933,028	43,548	6,976,576	198,387	7,174,964	—	7,174,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,119	169,983	228,103	—	228,103	△228,103	—
計	6,991,147	213,532	7,204,679	198,387	7,403,067	△228,103	7,174,964
セグメント利益	99,629	19,690	119,320	1,885	121,205	724	121,930

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額724千円は、セグメント間取引消去724千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,375,632	56,006	7,431,639	195,861	7,627,501	—	7,627,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,665	159,595	213,261	—	213,261	△213,261	—
計	7,429,298	215,602	7,644,900	195,861	7,840,762	△213,261	7,627,501
セグメント利益	159,757	18,782	178,540	1,645	180,186	△7,690	172,496

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△7,690千円は、セグメント間取引消去△7,690千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。